



FUYON

# 太陽の会

# 通信

FUYON



## 家族が学び、出会う場所。

雪解けが少しずつ進み、足元に春の気配がにじむ頃となりました。ご家族を支えながら過ごす皆様の日々が、少しでも軽く暖かくありますように。今年度もほっと息をつけるような情報をお届けしていきたいと思います。

### 【太陽の会通信についてのお知らせ】

いつも当センターを利用して戴きありがとうございます。

この度やまぶき通信を太陽の会通信へ変更致しました！

これまでお手紙でお届けしておりました太陽の会通信は、今後ホームページでのご案内といたします。

4月と10月に搭載します。

より多くの利用者様へ情報をお届けしたいという

思いから、変更させて戴く事といたしました。

今後ともよろしくお願い致します。

### 【2026年度最初の情報！】

2025年度から、「こころのケアセンターふよう」ではアルコール依存症およびギャンブル障害に対する専門的な治療とサポートを提供しております。

アディクションスタッフは専門的な治療を提供していくために、各種研修に積極的に参加しております。

2026年3月5日6日と2日間に渡り、ギャンブル障害の治療の為の研修に参加した4名から、研修の感想を聞いてみました！

作業療法士：工藤

身体的な問題が少ないなど、アルコール依存症者との違いはありますが、「生きづらさを抱えている」という部分は全てのアディクションに共通すると、改めて考える事が出来た研修でした。

①他者への不信感、②拒絶されている感覚、③自分への信頼の低さがあるからこそ、セルフケア（自分を大事にする方法）を取ることが困難な病気なのだと思います。

研修で学んだ事を活かし、アルコール依存症者・ギャンブル障害者とも自分を大事にする時間を後回しにせず、少しでも優先できるようにこれからも支援に努めていきます。

裏に続く・・・

看護師：鈴木

ギャンブルの研修では、教科書的な部分と実際の関わりと主に2つ学ぶことが出来ました。教科書的な部分では疫学や特徴（ADHDなど発達障害の方が多い、またうつなどの合併症が多いなど）、そしてギャンブル行動症特有の認知の歪みがあることも学ぶ事ができました（実際に自分にも当てはまる場所ありと共感？できた）

実際の関わりについて、久里浜医療センターでの治療も知ることができ、その中でもグループワークはとても勉強になりました。全国の医療者と意見交換できました。

看護師：下山

ギャンブル障害において、依存してしまう理由として単にお金が増える可能性にあるだけでは無く、行動している事に無心になれるという事や背景に不安障害やうつ病など情緒的に脆弱であることも関係していることを学びました。

看護師：川村

まず感じたことは医療機関への繋がりにくさです。身体の問題を起こす割合が低いことや借金問題が主となり、相談先が弁護士といった他機関になってしまうことが理由として挙げられていました。

ギャンブル障害という病気を理解していただき、治療に繋がる為にも、啓発や他機関との連携の推進が求められていると感じました。

一人で抱え込まず、悩みを共有できるような支援をしていきたいと思います！

依存症は意思の弱さでは無く、適切な支援と治療が必要な状態です。

支援者の皆さまも一人で抱え込まず、是非相談していただけたらと思います。

医師・専門スタッフが一人ひとりの状況に寄り添い、回復に向けたプログラムを提供していきます。

今後とも「こころのヨリドコロ」になれるよう、医療環境づくりに努めてまいります！

～編集後記～

研修に参加の感想から「なるほど、こうするともっといいんだ」という沢山の気づきを感じる事が出来ました。学んだ事を日々の活動に活かし、患者様・御家族様に安心して治療に取り組んでいただけるよう、スタッフ一同頑張っていきます！

編集：工藤、三上、川村、田中、下山、鈴木、橋本、佐々木、小笠原、小野

今月の家族教室は4月22日  
こころのケアセンターふよう 3階  
生活機能回復訓練室にて  
14:30～16:00 です



医療法人 芙蓉会